

# 有害生物（ゴミ）防除対策に関する研究 — 駆除技術開発試験 —

研究部

## 背景、目的

小呂島周辺海域で大量発生したゴミは、沿岸域へ分布が拡大し、漁業の操業に大きな影響を及ぼしています。この対策として、本研究では簡易なゴミ駆除技術を開発しました。

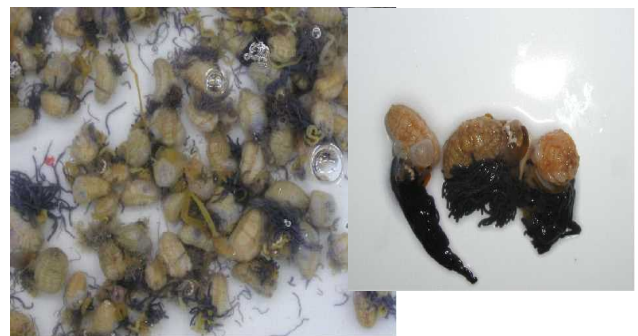
## 成果の概要

### （１）塩分処理

高濃度の塩水に、ゴミを浸ける方法で、卵巣等を体外に露出させダメージをあたえることで、増殖を抑えられることがわかりました。



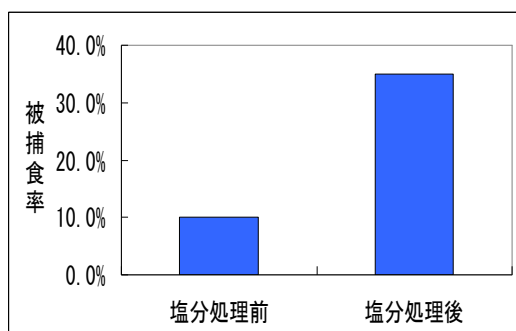
塩分処理前のゴミ



塩分処理後のゴミ（卵巣などが露出）

### （２）塩分処理後のゴミと捕食の関係

ゴミは体内に忌避物質（魚がいやがる物質）があつて、通常は魚に食べられることはありませんが、塩分処理後のゴミは魚の餌になることがわかりました。



塩分処理前後のタイによる捕食状況



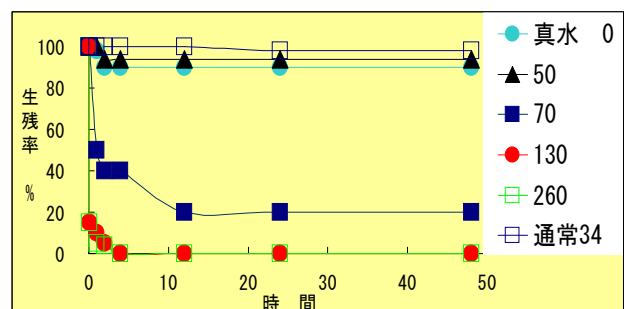
タイに食べられた塩分処理後のゴミ

### （３）現場への応用

塩分濃度別試験から、ゴミ処理に必要な塩分濃度（130psu、通常海水の約4倍）を明らかにしました。

また、1回の操業でゴミ200~300kgの処理が可能で、塩1俵（25kg）で約1トン进行处理できることがわかりました。

この成果は、漁業者による駆除事業に活用され、近年ゴミは減少傾向にあります。



塩分濃度別ゴミの生残率